

介護、その前に！

住み慣れた環境で長く住み続けるための実践／ノウハウ

団地再生テクニカル講座（第15回）平成30年9月14日開催



団地に暮らす方にとっての心配事である介護の問題。今回は、介護の前に、住み慣れた環境の中で如何に長く住み続けられるかという重要なテーマを皆さんと一緒に考えていきたいと思います。

前半は、今回のテーマを技術的に支えるメーカーとしての取組みを最先端のシステムのご紹介と合わせてお聞き頂きます。

後半は、長く住み続けられる環境をどのように作っていくのか、住環境を見る上で何が問題なのか等々、専門家のお立場から解説頂きます。

是非ご参加頂き、これからの団地ライフでのサステナブルな住環境作りのご参考にして頂きたいと思っております。

一般社団法人 団地再生支援協会
会 長 松村 秀一
技術普及部会長 井上 均

日 時 平成30年9月14日(金)

13:30 受付開始

14:00～開会挨拶

14:10～講演（質疑応答20分）

17:10～懇親会（～18:30）

参加費 2000円（懇親会費2000円別）

定員 35名（申込期限 9月10日まで）

会場 ちよだプラットフォームスクエア 505・506会議室

東京都千代田区神田錦町3-21 ちよだプラットフォームスクエア

TEL: 03-3233-1511 FAX: 03-3233-1501



演題1 IoT/AI 技術を活用した科学的な介護/見守りの取り組み

講師 山岡 勝 氏

14:10～15:30

○IoT 技術を活用した高齢者モニタリング

○自立支援に向けたIoT データ分析

○実践取り組みのご紹介



山岡 勝（やまおか まさる）
パナソニック株式会社 ビジネスイノベーション本部 事業開発センタースマートエイジングケアプロジェクト プロジェクトリーダー

【略歴】

2000年、松下電器産業株式会社（現・パナソニック株式会社）本社技術部門に入社。光ディスクの開発および国際標準化に従事。2012年より、アプライアンス社 技術本部。家電のネットワーク化（スマート家電）の企画・開発に従事。2017より現職。当社のクラウド・プラットフォーム（Panasonic Digital PlatForm）と、IoT家電/センサーを活用し、特に高齢者ケア/保育分野へのIoT/AIシステムの開発および事業化に従事。

演題2 団地における転倒防止、介護環境づくり

講師 橋本 美芽 氏

15:40～17:00

○転倒しやすい環境の特徴と住まいの点検

○転倒防止の環境づくり

○介護環境と認知症対策



橋本美芽（はしもと みめ）

・首都大学東京大学院 人間健康科学研究科 准教授
・荒川区、バリアフリー推進協議会 会長
・国土交通省、高齢者の住宅の設計・改修に関するガイドライン検討会 委員
・日本建築学会、高齢者・障がい者等居住委員会 委員
・経歴：日本大学大学院理工学研究科博士後課程修了、博士（工学）。横浜市総合リハビリテーションセンター企画研究室を経て現職。専門は、高齢者・障がい者の住環境整備・福祉用具の適合環境づくり。住宅改修による整備と共に、身のまわりの工夫による転倒予防と介護環境づくりに取り組む。最近の研究テーマは認知症高齢者の介護環境。

申込先 一般社団法人 団地再生支援協会

〒101-0054 東京都千代田区神田錦町3-21 ちよだプラットフォームスクエア

電話 03-5259-8420

FAX 03-6866-8925

Email info@danchisaisei.org

申込用紙に記入の上 FAXまたはメールでお申し込み下さい